

今回はボーナスステージ。トコロのPLがいなかったのと、日数的に早く進み過ぎて一章最後のイベントが発生しないので時間稼ぎ。DM曰く、「経験点いっぱいお宝いっぱいだよ」との事だったが実際はというと。

九日目夜

リングのおかげで睡眠が二時間で足りるムスカリは、一人起きて Scroll を呪文書に書き写していた。しかしそれも終り、そろそろ眠りに就こうかとした時

「WIS チェックをして下さい」

と天からの声がした。

ここでムスカリがチェックを通したら面白い事になったそうなのだが、ムスカリは気が付くことはなかった。

十日目

朝起きると、トコロがいなくなっていた。トコロの寝台には竜魔将ゲランと名乗る者からの「仲間は預かった。返して欲しければヴラス砦まで来い」といういかにもな置手紙が残されている。ちなみに昨晚ムスカリがチェックを通していたら、眠ったままふわふわと浮いて宿の出口へと向かうトコロの姿が見られたそう。竜魔将にゲランなんていたっけな...と思いながらも、一行はヴラス砦へと向かった。

三時間で辿り着ける筈のヴラス砦。しかし、無情にもランダムエンカウントが起こるかを決定する 12 面体ダイスの目は 1 であった。出て来たのはアウルベア × 2。倒すのはさして大変ではないと思われたが、DM のダイス目が奮ったのとナツツがグラップルされたりしたので、そこそこリソースを消費される羽目となった。

アウルベアを倒し、気を取り直してヴラス砦に向かおうとする一行だったが、その前にホブゴブリン達が立ちはだかる。なんと全員ヴォーグに乗り、レンジャーを入れて Favored Enemy:Human にしたホブゴブリンの、ランスチャージャー × 3、アーチャー × 3 で、CR はボス級であった。三人中二人は Human で、しかも Human ではない一人が一番 AC が高いというパーティは、Favored Enemy:Human に非常に苦しめられる。

ランスチャージャー一体にナツツが接敵して戦っている間に Defensive Cast に失敗したムスカリが残り二体から攻撃を受けて倒れ、アッシュはどちらを回復しに行けば良いのか分らなくなるような状況に陥った。ナツツはヴォーグの Trip で転ばされ、自分にアッシュに Cure してもらったムスカリにと、Stand をかけまくり、ムスカリは AoO を受けて HP: 0 になりながらも森へと逃げ込む。ここまでが窮地だった。けれどもアッシュがナツツの回復に専念出来るとなれば怖いものはない。目の前のホブゴブリンとヴォーグを Cleave ありの Full Attack で一気に落とし、残りのランサーも一匹ずつ片付けていく。ムスカリの Fire Ball も入り、ホブゴブリン達は一匹ずつ着実に倒されていった。

しかし、倒せたはいいが、アッシュ、ナツツ、ムスカリ全員ここでリソースが尽きる。仕方なく一行は一旦町へ戻って休む事にした。

十一日目

再びヴラス砦へと出発する一行。しかしまたもランダムエンカウントの目は、1 だった。出て来たのはダイア・ボア。これはそう大変ではなかった。

そのまま道を進んでいると、突然アッシュの体に衝撃が走る。森の中にアサシンが潜んでいたのだ。Rogue/Ninja/Assasin と見事に 1L v でスニークの手に入るクラスのマルチで、レベルが低くてもスニーク + 4d6 を実現させたアサシンからのデスアタックで、すわダメージだけでも死亡するんじゃないかという所だったが、幸いにしてクリティカルもしなければ、ST で 1 を振る事もなかったが、それでもこの攻撃だけでアッシュの HP は半分削られた。

しかも潜んでいたのはアサシンだけではなく、道の両側にそれぞれ Duskblade1Lv × 4 と Wizard1Lv × 4 もおり、サブライズラウンドでダスクは全員 True Strike、Wiz は全員 Scroll から Flaming Sphere を唱えた。ムスカリが次のターンで Fireball をダスクに放ってくれたからいいようなものの、Swift で Blade of Blood を唱えて命中通常 + 20、ダメージ 1d8 + 3d6 のクロスボウを打つ予定だったというから驚きだった。d20Maximise 体出されてたら死んでましたね。確実に。Wiz も同じく次のターンに Fireball で倒れたが、アサシンは Invisi して殴ってくるのでなかなか倒せず。ムスカリが See Invisi Glitter してくれてようやく倒す事が出来た。

リソースを結構消費しながらも一行はヴラス砦へと向かった。

ヴラス砦に到着すると、門の前には見張りが立っていて、どうも本当に竜魔将ゲランとやらはいるようだった。まずは見張りから、という事でムスカリはメジャー・イメージで脱走する上口口を演じ、見張りの片方を森の中に誘き寄せ事に成功する。が、この見張りもヴォーグに乗ったランサー（しかも Favored Enemy:Human）で、そう簡単には倒れてくれず、ようやく倒して門まで辿り着いた時には、ボスは散々に Buff った状態で一行を待ち構えていた。

自称竜魔将のボス、ゲランはハーフホブゴプリンで、それが故に赤い手の軍団でないがしろにされ、近頃噂の冒険者たち（つまりは我らがパーティー 名前はまだない な訳だが）を倒せば竜魔将にしてもらえるのではないかと思っている男だった。そうか、それで Favored Enemy:Human なのかと納得する一行。これだからハーフ~は、とどこかで誰かが言われていたのを聞いた事がある気がするアッシュは、その不憫な境遇に、他の竜魔将を倒してやるからその空席に座ったらどうだ？、などと提案する。敵内部に協力者が出来て面白い展開になりそうだったが、ゲランは竜魔将の座は自らの力で掴み取ると言ってそれをはねのけ、戦いの火蓋は切って落とされた。

Enlarge Person で巨大化したゲランに対し、ナッツとアッシュはダブル Blade of Blood で立ち向かおうとするが、ナッツが Insightful Strike の運用ミス発覚で弱体化していたのと、向こうも使ってきたダブル Blade of Blood で非常に苦戦する。ゲランは Blade of Blood + Shocking Grasp で攻撃し、こちらが与えたダメージは砦の中に隠れているらしき Wizard/Clelic がスペクトラル・ハンドで Cure を飛ばして回復。なんとか Blade of Blood を封じられないかとアッシュは Silence を掛けたが、スペクトラル・ハンドでも飛んでくるのであまり意味がない。

そうこうする内に放って置かれたもう一人の見張りランサーによってムスカリが気絶してしまい、アッシュはダブル Blade of Blood 戦線からの一時離脱を余儀なくされる。ゲランの前に残ったのは、Clelic もどきより薄くて細い、魔法戦士。ゲランの猛攻撃に一人で耐えられる筈もなく、先程張った Silence とゲランからの AoO のせいでアッシュも回復に行けず、ナッツは静かに倒れた。

ダメージリソースがなくなってしまうのはどうしようもない。ついでに回復リソースもほとんど残ってない。アッシュとムスカリは、撤退した。

十二日目

ナッツの代わりにゴブリン嫌いのドワーフ、アイシードをリクルートしてグラス砦へと向かう。もう4回目なだけあって、リクルートは投げやりだった。ランダムエンカウントの目はまたも1。よくもまあ三回連続で出たものだと思う。しかし、今回はリソースもほとんど消費せずにグラス砦へと到着する事が出来た。

まずはやはり見張りから倒そうという事で、アイシードとアッシュがロングボウに Blade of Blood を乗せて森の中から狙撃する。しかし d20 の目は何故か二人とも1で、アッシュの 10HP と 2d8+6d6 は地面へと消えた。

奇襲には失敗したが敵の手は分っている。ダメージを与えても回復されるゲランではなく見張りを先に倒し、ムスカリは See Invisi を掛けて Wizard/Clelic に立ち向かうべく砦の中に入る。しかし敵は前日以上にえげつなかった。ゲランはスパイク付きミスラルチェーンと剣で二刀流をしていたのだが、自身のと部下からので Blade of Blood をその両方に掛けて Full Attack をして来たのだ。Enlarge Person などとはく為にアッシュが何度もそれを Dispel するが、それでもまた出る Blade of Blood。Blade of Blood に次ぐ Blade of Blood。どうも部下の Wizard/Clelic は、2lv スロットまで全部 Blade of Blood で埋まっているらしかった。さすがにこれには耐え切れず、アイシードが死亡する。

これは全滅するなと思いつつも、もうこれ以上退却して日をいたずらに過ごすのも嫌だったので、せめて Wizard/Clelic だけは倒そうと、アッシュは Wizard/Clelic に Magic Missile を打ち込んでいたムスカリと合流した。苦戦するかと思いきや、もうリソースも残っておらず、Blade of Blood 連発で HP も減っていたおかげであっさりと倒すことに成功する。もしかしたらこのまま行けるんじゃないかと、Medium サイズに戻ったゲランと対峙すると、HR は対して変わらない上に防御力はアッシュの方が高かった。しかもまだ 2nd スロットが有り余っている分、分がある。結局このまま行くと競り負けるだろう(ゲランが)という事で DM からのストップコールが入り、長かったボーナスステージは終わりを告げた。

幸いにしてトコロは無事だったが、死亡人数は二人。

経験点いっぱいお宝いっぱいではなく、えげつないのいっぱい Blade of Blood いっぱいであった。

とりあえず Blade of Blood って書き疲れた。確かに私がいだした Spell だけども、本当に酷いと思う。後悔した。でも Favored Soul が一人使う時点ではそこまでではなかったんだよ。

今回のボーナスステージに名前をつけるなら、「Blade of Blood 祭り」とつけるのが良いような気がします。(WR)